

「おおい町まちづくりアイデアコンテスト」実施要項

1 目的

第3次おおい町未来創生戦略（令和7年3月策定）の実現を目指して、学生ならではの目線・感性・考え方によりまちづくりの課題や地域資源を発見し、まちづくりに反映することを目的に、大学生等によるチームを対象とした、地域を活性化するアイデアを提案するコンテストを実施します。

併せて、参加者と町内の住民等との継続的な交流の発展にも期待するものです。

2 主催・実施支援（窓口）

主催

おおい町（まちづくり課）

（担当：浦西 TEL：0770-77-4051）

実施支援業務受託者（窓口）

株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 京都本社

（担当：榎平、平野 TEL：075-924-2582）

3 日程・スケジュール

令和8年6月30日（火）	参加チーム応募締切 →7月上旬に参加の可否を通知します
7月16日（木） 7月17日（金）	参加チームへの事前説明会 ※オンラインで実施
7月28日（火）	フィールドワーク実施計画の提出期限
8月1日（金） ～9月30日（火）	町内でのフィールドワーク（2日以上）
10月31日（金）	提案書の提出期限
11月日（日）	アイデア発表会（プレゼンテーション・質疑応答）

4 開催場所

福井県おおい町内

5 コンテストのテーマ

大テーマ

SEE SEA PARK オールシーズン賑わい創出

(テーマ設定の背景)

おおい町の「玄関口」であるうみんぴあ大飯エリア。その中に立地する複合商業施設 SEE SEA PARK ではテナントのレンタルや起業を志している方のためのチャレンジショップを行っていますが、特に秋から冬にかけて来場者が少なく、出店しても中々収益をあげることができないことが課題になっています。

今回のコンテストでは、大テーマとして、年間を通じて SEE SEA PARK の賑わい創出に繋がるようなアイデアを募集します。

小テーマ

以下のいずれかから1つを選択（複数に跨るアイデアも可）

①「町の内と外に住む人たちの、つながりつづまちづくり」

(テーマ設定の背景)

現在、進学を機に町を離れた地元の若い人やアイデアコンテストに参加してくれた学生、移住に関心がある人など、多くの人たちが関係人口として「おおいサポーター」に登録してくれていますが、登録後一定期間経過後に関係が途絶えてしまうことが多く、本小テーマでは「おおいサポーター」登録者に継続しておおい町に関わってもらうためのアイデアを募集します。

②「自然や文化、テクノロジーを活かし、子どもの未来ひろがる体験を」

(テーマ設定の背景)

おおい町は子育て世帯の移住・定住やUターンの促進に繋がるよう、子育て家庭に対する様々な支援を行っており、令和6年度の厚生労働省の調査では本州で2番目に合計特殊出生率の高い自治体となりました。今後も「子育て応援日本一の町」を目指し、様々な取組みを行っていく予定ですが、その1つとして子どもたちの知性や感性が育まれる環境づくりの一助となるような、町内の文化や自然を生かした子どもの学びの場づくりに関するアイデアを募集します。

③「持続的な地域社会をつくるためのDX推進ロボ」

(テーマ設定の背景)

「街の幸福度ランキング 2025〈北陸版〉、〈福井県版〉」(大東建託調べ)で第1位に選ばれたおおい町。人口減少・少子高齢化の進行により、今後ますます地域の担い手が不足していく中で住みよい町であり続けるためには、AIや自動運転、ドローン等の先進的な技術を活用した地域DXが必要不可欠です。本小テーマでは、住民が先進的な技術に触れることで、地域DXの促進に繋がるようなアイデアを募集します。

6 コンテストの内容

(1) フィールドワークの実施

- ・コンテストのテーマに合うアイデアを提案するために必要な、おおい町内での現地調査（ヒアリング、アンケート、文献調査等）を想定。調査内容・手法は、特に指定しない。

(2) 提案書の作成

- ・パワーポイント形式による資料（20 ページ程度）を提出し、発表会ではその資料を使用すること

(3) アイデア発表会

- ・参加チームごとにプレゼンテーション（8分）及び質疑応答（7分）を実施（参加チーム数によって、時間を調整することがあります。）
- ・全チームの発表後に審査を行い、優秀なアイデアを表彰

7 応募要件

- ・まちづくりに関心があり、コンテストに真摯に取り組むこと
- ・学生（大学生、大学院生等）3人以上、9人以下のチームで参加できること（指導教官含むゼミ単位のご参加を歓迎します。ただし、同一ゼミから複数チームのエントリーがあった場合は、チーム数を調整することがあります。）
- ・代表者が事前説明会（オンラインで実施）に参加すること
- ・チームでフィールドワークを2日以上（日帰り・1泊2日どちらでもよい）実施するとともに、アイデア発表会でプレゼンテーションを行うこと

応募方法の詳細は、別途実施支援業務受託者が提示する「募集要項」による。

8 参加チームへの支援

アイデアの提案に必要な活動経費（例：おおい町への交通費、町内での宿泊費・移動費、資料代等）について、参加チームの人数に応じて支援を行います。（原則一人あたり最大2万円の実費相当分〔コンテスト当日の交通費・宿泊費含む〕を想定していますが、1回〔1泊2日〕の交通費・宿泊費で一人あたり2万円を超える場合は、最大4万円4千円の実費相当分）

具体的内容及び事務は、別途実施支援業務受託者が提示する。

9 審査

- ・提案書及びプレゼンテーションの内容を、審査員が審査基準に基づいて総合的に評価します。審査の結果、優秀なアイデアを提案したチームを表彰し、賞状及び副賞を授与します。
- ・審査項目は以下の通りです。
 - ①地域性※、②独創性、③実現可能性、④事業効果、⑤説明の分かりやすさ、⑥訴える力、⑦質疑応答の的確さ
 - ※地域資源や地域課題を踏まえた、おおい町に適した提案となっているか

審査員及び審査基準等についての詳細は、別途定める。

10 優秀アイデアの事業化について（次年度）

- ・優秀なアイデアを提案したチームには、アイデアを実現するため、次年度、提案した内容をおおい町内で実際に実践してもらう活動（事業化）に取り組んでいただく予定です。このため、**提案するアイデアは、参加チーム自ら取り組むことを前提に考えてください。**
- ・自分たちが事業化に取り組むことが難しい場合、ゼミの後輩等に引き継ぐなどしてください。
- ・事業化には地域の協力が必要となることを前提に、町内の団体や住民等と協力して取り組めることを提案してください。
- ・事業化に要する費用として、**1チーム55万円（交通費・宿泊費含む）を上限に支援**することを予定しています。チームが支出できる金額の範囲内で取り組めることを提案してください。

11 その他

- ・提案書の内容（参加メンバーの氏名、学年、学校名、所属する学部・学科を含む。）やフィールドワークの実施状況は、おおい町のホームページや広報紙で公表する予定です。
- ・アイデア発表会は一般公開で行います。また、当日の様子は YouTube で公開する予定です。
- ・アイデア発表会の開催は報道機関等に情報提供しますので、取材等が行われることがあります。
- ・参加チームからおおい町に提出された書類等については、おおい町情報公開条例で定める個人情報等の非公開情報を除くすべての情報が情報公開の対象となります。
- ・収集した個人情報等については、事業実施目的以外には使用しません。